

「やすらぎ」と「うるおい」のまちづくり



鏡石町長  
木賊政雄

新年あけましておめでとうございます。皆様方にはすがすがしい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。昨年は、昭和37年8月に町制を施行して満45年を迎えることができましたことに対し、先人の方々、そして町民各位の御尽力の賜であり深く感謝申し上げます。

町制施行45周年記念式典をはじめ、鏡石「牧場の朝」秋祭りなど各種記念事業を盛大に開催し、次の大きな節目となる50周年への新たなスタートの年でもありました。

また、長年の希望でありました「鏡石パーキングエリア」を活用したスマートインターチェンジの社会実験が昨年9月にスタートいたしました。1日平均約400台の利用がありますので、更に利用台数を伸ばし本年4月からの恒久化に向けた利用促進のPRに努めて参ります。

さて、今、少子高齢化社会や都市と地方の格差社会が進むなか、人にやさしい地方自治の確立が求められておりますが、町では、第4次総合計画の基本テーマである「共に生き 共につくる 牧場の朝のまち 鏡石」の具現化に向け、5つの柱を基軸にまちづくりに取り組んで参る所存であります。

特に、医療制度改革による後期高齢者医療制度及び健康増進事業の推進、少子化対策としてのすこやか子育てプロジェクトの推進、財政基盤の確立に向けた企業誘致活動を戦略的に進めて参ります。また、継続事業についても、「国道4号4車線整備促進事業」「地方道路整備臨時交付金事業」「成田地区県営ほ場整備事業」「公共下水道事業」「生涯学習事業」などを着実に推進して参ります。

今年も厳しい財政状況にありますが、計画的な財政運営を基調に、町の特性を生かしながら、「やすらぎ」と「うるおい」が実感できる1年として参る所存でありますので、引き続き温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

町民の負託に努力



鏡石町議会議員  
仲沼義春

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのことと、お喜びを申し上げます。また、常日頃、議会活動に対しまして、多大なご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、「一年の計は元旦にあり」と申します。

お正月ほど希望に満ちた、進歩・向上の意気に燃える時はございません。「新年」は、過去の諸々の事柄に区切りをつけ、心機一転、再出発する機会と勇気を与えてくれるからであります。

「もう一度新しく」という、このお正月の気分が、人々に喜びを与え、計画を立てる意欲を与え、限りなく前進する気力を、与えてくれるのだと思います。

昨年、9月14日には、東北自動車道鏡石パーキングエリアでのスマート・インターチェンジ社会実験がスタートしました。新しい町づくりの起爆剤となることを願っております。

また、9月28日には、町制施行45周年記念式典が行われ、町政各般にわたってご活躍された方々が、表彰されました。この45周年を節目として、さらなる発展することを願っております。

内外の政治・経済・社会情勢は誠に厳しいものがありますが、町政におきましても、町民の方々のご協力をなくしては一つ解決することは不可能であります。

本年も、町民の皆様のご期待に添うべく、年の初めに志した計画・信念に基づいて、努力してまいりますので、今年もより一層のご支援を、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、実り多い年でありませうお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



9月にスタートした鏡石スマートIC社会実験(上り口)

つどいの広場子育て講座